

# 地域で支え合う、みんなで支え合う

## ～認知症になっても安心して暮らせるまちに～

**問合せ先** 地域福祉課高齢者支援グループ (あいあい ☎ 84-3312)

認知症とは、さまざまな原因で脳の働きが悪くなって記憶力や判断力などが低下し、日常生活に支障が出ている状態を指します。また、認知症は、「加齢によるもの忘れ」とは違い、誰もがなりうる可能性があります。厚生労働省によると、認知症高齢者の数は令和7年には約700万人に達し、65歳以上の高齢者の約5人に1人が認知症になると予想されています。

市では、認知症になっても住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、認知症等高齢者見守りシールの交付などさまざまな支援の取り組みを行っています。

### 認知症等高齢者見守りシール

見守りシールは、認知症などのため道に迷っている人を見かけた際、シールに印刷された二次元コードを読み取ることで、インターネットを通じて家族などへ速やかに連絡できる仕組みです。



#### 1. 見守りシール交付対象者: 次のすべてに該当する人

▷自力で外出することが可能で、かつ、認知症等の症状により自力での帰宅が困難となる可能性がある市内に住所を有する在宅の65歳以上の人

▷介護保険の要介護・要支援者、または、医師により認知症と診断された人

#### 2. 費用負担: 無料 ※追加交付は実費負担をいただきます。

#### 3. 交付枚数: 対象者1人あたり 耐洗ラベル30枚+蓄光シール10枚

**耐洗ラベル:** 180℃のアイロンで圧着します。衣服や持ち物に貼ります。

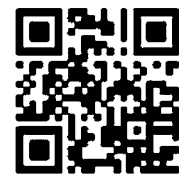
**蓄光シール:** 暗い所で光ります。靴、杖、シルバーカーなどに貼ります。

※申請書は市ホームページからもダウンロードできます。



### 「認知症等高齢者見守りシール」で行方不明者の保護にご協力ください

見守りシールを衣服などに貼っている人が1人で戸惑っている場合は、優しい声掛けと二次元コードの読み取りにご協力ください。その行動が、行方不明になった認知症の人の早期発見・保護につながります。



発見時の対応についての動画の二次元コード

### ● 認知症等高齢者等個人賠償責任保険事業

ほかにもこんな事業に取り組んでいます!

認知症などにより、日常生活の中で偶然な事故により法律上の損害賠償責任を負う場合に補償を受けられることができる事業です。認知症の高齢者などの親族が申請できます。詳しくは、地域福祉課高齢者支援グループへお問い合わせください。

#### 保険の被保険者

- ▶ 認知症等高齢者見守りシール交付対象となった「認知症等高齢者」(ただし、保険に加入することを親族が希望する場合)

#### 補償の対象となる場合

- ▶ 誤って線路に立ち入り電車を止めてしまった
- ▶ 他人の財物を壊してしまった
- ▶ 日常生活で他人にけがをさせた など